

問1 古代中国において、人間が作り出した有用・無用といった価値判断や社会規範を人為的な偏見として否定した思想家は誰か。彼は、万物は宇宙の根本原理の現れとして等価であるとする「万物斉同」を説き、一切の対立や差別を超越して天地自然と一体となった「真人」を理想の人間像とした。 （2006年 全国公立入試 類似）

1. 孟子 2. 莊子 3. 荀子 4. 墨子

問2 仁義の徳に基づく王道政治を理想とし、君主がその徳を失って民を虐げる場合には、天命が改まって別の有徳な者が新たな王朝を開くという政治思想を唱え、武力による支配である霸道を批判した、戦国時代の儒家の思想家は誰か。 （2007年 全国公立入試 類似）

1. 墨子 2. 孟子 3. 荀子 4. 莊子

問3 ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の三つの律法は、それぞれの信者にとって真実であり、互いに他の律法を否定することはできないという、宗教的寛容を示す「三つの指輪の比喻」が語られる、近代散文文学の先駆となったボッカチオの代表作である物語集は何か。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. マクベス 2. ハムレット 3. デカメロン 4. ユートピア

問4 古代ギリシアの民主政期において、弁論術を教える職業教師として活躍し、絶対的な真理を否定して個人の主観を重視する立場をとり、のちにソクラテスやプラトンから厳しく批判された知識人たちを何と呼ぶか。 （2013年 全国公立入試 類似）

1. エピクロス 2. ピタゴラス 3. ソフィスト 4. ソクラテス

問5 古代インドのバラモン教において社会的な身分秩序を固定化していた4つの基本階級の区分であり、仏教の創始者によってその絶対性が否定され、生まれではなく行為の清らかさによって人間の価値が決まると批判された制度を何というか。 （2024年 全国公立入試 類似）

1. アシュラマ 2. ヴアルナ 3. ジャーティ 4. カースト

問6 イスラーム教において、唯一神アッラーが預言者ムハンマドを通じて下したとされる、最も重要視される聖典（啓典）は何と呼ばれるか。この書物は、信仰のあり方だけでなく、ムスリムの日常生活や社会秩序を律する法（シャリーア）の根源としても機能している。 （2018年 全国公立入試 類似）

1. タルムード 2. クルアーン 3. トリピタカ 4. アヴェスター

問7 言葉は真理（道）を捉えるための道具にすぎず、真理を得たならば言葉は忘れるべきであると説きながらも、寓話や比喻といった独特の言語表現を駆使して、固定観念から解放された自由な生き方を提示した、中国戦国時代の道家の思想家は誰か。 （2015年 全国公立入試 類似）

1. 莊子 2. 老子 3. 列子 4. 楊朱

問8 人間の生は一時的な仮の宿のようなものであり、虚無から生じて再び虚無へと戻る変化にすぎないため、生の長短や死の恐怖といった相対的な価値に囚われるべきではないと説き、万物斉同の立場から自然の循環に身を任せる死生観を提示した、中国の戦国時代の思想家は誰か。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. 莊子 2. 墨子 3. 孟子 4. 老子

問9 ポリス社会が崩壊し、個人が孤立していくヘレニズム時代において、身体に苦痛がなく魂に動揺がない状態を真の快樂とし、公共の政治活動から離れて「隠れて生きよ」と説いた思想家は誰か。 （2004年 全国公立入試 類似）

1. ピュロン 2. エピクロス 3. プロティノス 4. エピクテトス